

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	室内音響小委員会	主 査 名：佐藤 史明 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (音環境運営委員会)	委員長名：田辺 新一 主 査 名：岡野 利行
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 室内音響学に関する知見や技術を広く様々な空間に応用して社会貢献を目指す ・ 室内音響分野のメインストリームの活性化 ・ 活動方針や活動内容の決定とWGの設置 ・ 目的に対する議論と各WGの活動のサポート 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無： 無	
	佐藤史明 (千葉工大)、豊田恵美 (小林理研)、青木亜美 (日建設計)、池上雅之 (大林組)、石渡智秋 (永田音響)、上野佳奈子 (明治大学)、大久保洋幸 (NHK技研)、川井敬二 (熊本大)、坂本慎一 (東大生研)、佐久間哲哉 (東大)、清水寧 (東工大)、佐藤洋 (産総研)、羽入敏樹 (日大)、船場ひさお (フェリス女学院)	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 室内音響設計事例集企画検討WG：吸音の必要性の啓蒙 ・ スピーチプライバシー研究WG：評価方法や制御・設計方法に関わる研究 ・ インパルス応答予測・計測WG：室内音響指標のベンチマーク問題 ・ 子どものための音環境WG：保育施設の音環境の問題点やニーズの把握 	
2014 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無： 有 委員会 HP アドレス： インパルス応答予測・計測WG http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s24/benchmark/index_j.html http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s24/benchmark/index.html

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (除シンポジウム資料等)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 第 74 回音シンポジウム「都市・建築空間における音声伝送性能評価に関する最新の動向」 資料名：同上 参加者名 33 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. スピーチプライバシー研究WGについては、2014 年建築学会の O S において AIJES 化へ向けた議論を行った。 2. インパルス応答予測・計測WGについては、2つの国際会議 (International Symposium on Room Acoustics: ISRA 2013 と Forum Acusticum 2014) で成果の発表と議論を行った。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 室内音響設計事例集企画検討WG：次年度における成果物の公表の期待がかなり高いところまで進み、好調な達成度である。 2. スピーチプライバシー研究WG：次年度において AIJES の素案が作成できるところまで進み、好調な達成度である。 3. インパルス応答予測・計測WG：2つの国際会議で成果を公表し、ベンチマークテストに関する英語版のホームページでき、非常に高い達成度である。 4. 子どものための音環境WG：次年度におけるシンポジウムの開催計画も具体出来に進んでおり、高い達成度である。
委員会活動の問題点・課題	特になし

2014 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

<p>総合評価 (4段階評価)</p>	<p>A</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>全てのWGにおいて、室内音響学の社会貢献を目指した達成度は非常に高い。また、室内音響分野の本流においても、次年度において“室内音場の先進的な測定・解析・評価”をテーマとしてオーガナイズドセッションを開催する運びとなっており、その点においても高く評価できると考えている。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。